

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成23年3月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年3月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 157社 回答率 94.6%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	21社 13.8% (15.0)	26社 17.1% (23.5)	30社 19.7% (35.9)	31社 20.4% (17.6)	44社 28.9% (7.8)	152社	25社 16.8% (21.3)	25社 16.8% (24.0)	26社 17.4% (30.7)	29社 19.5% (11.3)	44社 29.5% (12.7)	149社
売上高	19社 12.4% (14.3)	28社 18.3% (27.3)	32社 20.9% (29.9)	30社 19.6% (20.1)	44社 28.8% (8.4)	153社	25社 16.7% (24.5)	28社 18.7% (23.8)	26社 17.3% (28.5)	31社 20.7% (13.9)	40社 26.7% (9.3)	150社
在庫数量	11社 7.4% (6.7)	26社 17.4% (18.7)	61社 40.9% (48.0)	38社 25.5% (22.7)	13社 8.7% (4.0)	149社	18社 12.5% (8.4)	16社 11.1% (15.4)	53社 36.8% (46.2)	30社 20.8% (18.2)	27社 18.8% (11.9)	144社
販売単価	1社 0.7% (0.0)	35社 23.3% (26.5)	99社 66.0% (68.9)	9社 6.0% (4.0)	6社 4.0% (0.7)	150社	17社 11.8% (17.9)	55社 38.2% (29.7)	48社 33.3% (37.9)	12社 8.3% (9.0)	12社 8.3% (5.5)	144社
収益状況 (粗利)	11社 7.3% (7.1)	28社 18.5% (21.4)	46社 30.5% (48.7)	32社 21.2% (17.5)	34社 22.5% (5.2)	151社	16社 10.8% (14.2)	30社 20.3% (25.0)	37社 25.0% (35.1)	27社 18.2% (15.5)	38社 25.7% (10.1)	148社
稼働率 (生産・加工設備)	1社 0.8% (4.9)	17社 13.5% (16.3)	34社 27.0% (51.2)	27社 21.4% (22.8)	47社 37.3% (4.9)	126社	8社 6.7% (9.1)	15社 12.5% (23.1)	35社 29.2% (43.0)	20社 16.7% (16.5)	42社 35.0% (8.3)	120社
入出庫の トラック台数	4社 2.8% (4.1)	21社 14.5% (15.0)	40社 27.6% (55.1)	32社 22.1% (20.4)	48社 33.1% (5.4)	145社	10社 7.1% (8.6)	20社 14.3% (21.4)	36社 25.7% (45.0)	29社 20.7% (16.4)	45社 32.1% (8.6)	140社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	1社 0.7% (2.0)	10社 7.1% (10.8)	43社 30.5% (41.9)	32社 22.7% (19.6)	55社 39.0% (25.7)	141社	0社 0.0% (1.5)	26社 20.2% (12.5)	52社 40.3% (55.1)	32社 24.8% (22.1)	19社 14.7% (8.8)	129社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(3月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 東北地方太平洋沖地震により、稼働日数・加工量の減少、工場再建、自動車メーカーの操業停止など、今後厳しく懸念される。
- ② あまり喜べる話ではないが震災がらみの特需がある。浦安のコイルセンターも本格稼働でない分、加工の引合いも多く、どのラインも一週間掛かる。このような中で、鉄鋼メーカーによる値上げがあるわけであるが、どの客先も難航しており長期戦になる見込みである。見通しが付かない中、いかに客先の理解を得て価格転嫁していくかが今後の課題。
- ③ 東日本大震災直後は、東北・関東の被災企業の生産活動停止による受注減となったが、月後半には材料先高感による仮需的な受注増がみられた。しかし、被災範囲が広範なことと、東京電力原発の風評による影響も加わり、復興の道筋が不透明な情勢にあることから、今後の受注動向は読みづらい状況にある。
- ④ 震災の影響で荷動き、市況ともに横這いで推移していたが、4月に入り値上げ玉の入荷間近となり、市況は強含みに転じている。荷動き低迷下で短期間に大幅な価格転嫁が実現できるか、大手紐付および輸入材の価格動向を見ながら流通の足並みがいかに揃えられるか注視したい。
- ⑤ 震災の影響がいつまで続くかが景況を左右するだろうし、原子力問題がとくに心配だ。
- ⑥ 3月11日の震災の影響を受け、彼岸明けまでは復旧に大半を費やす月となった。足下は仕入先、得意先の被災状況や復旧スケジュール情報を収集しながら、最大限復興に向けて、本業を通じて何が貢献出来るのかを目指して行きたい。国難のときなので損得は言っていられないと考えている。復旧用資材関連、仮設住宅向けは3ヶ月先まで手配を要請されており、メーカーも最大限の協力を約束してくれた。商売上はプラスもありマイナスもあり、影響は計り知れないが、年度も変わったので頑張りたい。
- ⑦ メーカーの値上げ表明と仮需の胎動によって上向きかけた相場に、大震災が水を差す格好になり売上が大幅に落ちた。震災復興需要も当座期待できず、足下は仕事が少ない。一段と厳しい状況になったと思う。
- ⑧ 地震のため10%程度稼働減。

中板

- ① 3月の販売数量は、前月比大幅減に終わる。東日本大震災により、鉄鋼団地内は数日機能が停止状態となり、その後も復旧工事等で荷動きが停滞したのが大きな要因と考える。市況は強基調で変わらぬが、高値のコイルが順次入荷しており、今後採算確保が難しくなると予測され、段階的に値上げを実施しなければならない状況だ。震災復興には時間が相当掛かると思われる中、福島原発の問題があり、先行きの不透明感強く、予測出来ない現況と考えている。
- ② 地震のため開店休業状況。売上大幅ダウン。

厚板

- ① 当月は先月からのずれ込み分と、年度末の橋梁関係の需要で山積みが高くなる予定であったが、地震の影響による復旧作業のため、一時生産活動がストップし、加えて大きな影響を受けた高炉メーカーからの厚板供給も滞り、当初予定に比べ数量的には3割程度減少した。来月以降はもともと橋梁、鉄骨とも山積みは少ない時期であったが、今後、ファブの工程や高炉メーカーの厚板供給に地震の影響がどの程度出て来るのか不透明であり、しばらくは山積みとしては低い状況で推移するものと思われる。
- ② 震災の影響大で、3月については2週間以上生産が止まった。

一般形鋼

- ① 地震の影響により、団地内が非常に混乱した。今後の団地内で力を合わせて震災地区の復興と団地内の復興に注力したい。
- ② 今月は前月比3日営業日数が多いので、日数増でリカバリーを企んでいたが、地震で適わず。震災3日後から、復旧により応急処置用の鋼材注文が来が、ユーザーは浦安の惨状を知らずデリバリーに往生した。7月から復興需要が本格化し、それも3年から5年の長期に亘るだろう。国内全鉄鋼メーカーの姿勢が問われる。

HI形鋼

- ① 震災の影響で一時的に土木サイズが動いたが、現在は平常時に戻っている。値上げ玉も順次入荷するので、採算を考えての市況上昇を目指していく。
- ② 市況は上げ基調である。これは震災とは関係なく、ネットの値上げによるものであり、まだ途中である。復興需要がこれからどうなるのか分からないが、在庫はタイトになるであろう。また、通常の需要は落ち込むと思われる。先が読めない状況になってきた。

異形棒鋼

- ① 震災後、一時的に落ち込んだが、次の週は動いた。3週目は落ち着いた動きになっている。計画停電によるメーカーの生産ダウン、スクラップの価格下げなどいろいろな要因がある。

平鋼

- ① メーカー値上げで市中下値は切り上がってきている。動きは余り良くない。

鋼管

- ① 震災の復興需要が少し出始めている。
- ② 荷動きに変化なし。低レベル横這い。東日本大震災の復興需要は今のところない。
- ③ 地震災害(液状化)により、工場は壊滅状態で復旧の目途は立っていない。

構造用鋼

- ① 需要環境は、自動車、建設機械関連等、堅調な動きとなっていたが、震災直後から荷動きは低下しており、影響が長期化しそうである。原料価格等の高騰によるメーカーの値上げ発表により、先高感はあるものの、この現況で再販価格への転嫁は一部遅れる傾向にある。
- ② 比較的堅調であった自動車、建機関連も震災後生産ストップ。店売りも計画停電の影響で配送に支障が出ている。

その他

<曲げ加工>

- ① 前半はまずまずだったが、地震被害から受注、稼働率の減少により売上、加工が低下。ここしばらくは地震災害により経済上昇は見込めないだろう。以後何ヶ月かすれば復旧作業による仕事が見込めるか。

<金属表面処理加工>

- ① 3月は3.11の東日本大震災の影響で、予定より15%の処理量減となる。震災での設備ダメージは多少あるが、安全を確認した上で14日より紐付、物件物の受注残の加工を開始。4月以降は物流等不透明なことが多いことから、予定を立てにくいのが現状。東北地方太平洋沿岸の早期復興を祈る。